

令和6年奥能登豪雨の被災農場

(令和6年9月23日現在)

全て珠洲市内

- 酪農（約100頭） → 停電・断水・生乳廃棄等

発電機及び給水タンクを手配し対応

- 酪農（約30頭） → 断水

河川より自己所有の水中ポンプにて対応

- 酪農・肉用牛（約120頭） → 停電・断水・車両通行不能・生乳廃棄等

発電機を手配し対応（バケットミルカー用）

家畜用飲水は湧き水で対応

- 肉用牛（約30頭） → 断水

近隣畜産農場から水中ポンプを借り、河川より

家畜用飲水を確保し対応

- 肉用牛（約100頭） → 停電

近隣から井戸水ポンプアップ用発電機を調達し対応

- 養豚（県内10戸） → 県内農場は能登町以南であり、被災した情報は無し

- 養鶏 → 先の地震で被災した農場への道路寸断はあった

ものの、家畜の被害は確認されていない。

令和6年奥能登豪雨の被災状況

(令和6年10月1日現在)

- 畜産農家被害は、概ね石川県珠洲市内に集中している。
- 酪農3戸、繁殖2戸、肥育1戸、計6戸の被災を確認している。
なおこの6戸は令和6年能登半島地震でも被災している。
- 10月1日現在も1戸で断水（上水）が続いており、タンクローリーによる給水支援活動を継続中。
- 2戸で未だ停電継続中であり、発電機で対応中。
- 発災直後は農場の孤立が発生し、現在は解消されているものの、大型車両の通行不可箇所が多くあり、飼料や家畜搬入出等の輸送が困難な状況。
- 時間の経過とともに、畜舎以外で草地被害が報告されており、稲刈り時期とも相まって粗飼料不足が懸念されている。